

秦野支部長 石 川 一 郎 (S57年卒)

友松会秦野支部の様子を報告します。秦野市は、神奈川県央の西部に位置し、市域の多くが、東・北・西の三方を丹沢山塊に囲まれ、南をなだらかな渋沢丘陵に遮られた盆地地形の緑の多い自然豊かな都市で、平成27年1月1日をもって市制施行60周年を迎えました。神奈川の屋根と言われる丹沢山塊。塔ノ岳、鍋割山、烏尾山などで構成される表尾根は、四季折々の表情を見せ、大倉やヤビツ峠などの登山口に多くの登山者が訪れます。また秦野市内には、湧水が多く見られ、昭和60年には秦野盆地湧水群が環境庁より「全国名水100選」に選ばれました。市の東には、カルシウムを多く含んだ良質の温泉である鶴巻温泉があり、旅館や公営の日帰り温泉施設が営業しています。

現在秦野市には、小学校13校と中学校9校があります。友松会秦野支部は、OB会員74名、現職会員49名の123名で構成されていて、OB会員数よりも現職会員数が下回っている現状があります。昨年度(平成27年度)久しぶりに新会員1名の入会がありました。最近、横浜国立大学を卒業された方が、秦野市の学校に就職されることが少なくなっており、会員の年齢構成において、年齢層が若くなるにつれて会員が少なくなっている状況です。

主な活動として、毎年1回、友松会秦野支部総会・懇親会を開催していま

す。平成28年度は、平成28年6月26日(日)に秦野駅前のホテルを会場に支部総会および懇親会を開催しました。来賓として、友松会本部会長の芦川弘様のご臨席を賜り、20名の会員が参加して和やかな雰囲気の中で、昔話に花が咲き、楽しいひと時を過ごしました。



友松会会長を囲んで



懇親会の様子



総会参加者全員写真